



高山

泰三が日本出版貿易株式会社＜8072＞株式の大量保有報告書を提出



東証スタンダードの日本出版貿易株式会社＜8072＞について、高山泰三が2月21日付で財務局に大量保有報告書（5%ルール報告書）を新規提出した。

保有目的は「提出者は純投資及び状況に応じて重要提案行為等を行うことを目的に保有しました。「私たちは文化事業を通じて、国際社会に貢献します」という経営理念に期待しています。約150年ぶりのジャポニズム再来という世界潮流の中で、出版物の輸出入を手がける発行者の社会的役割は大きいと思うからです。綾森豊彦社長のもと物流体制の刷新など着実な経営改革も行われています。また、千代田区にある旧本社社屋は賃貸用不動産への建替えが進んでおり、不動産部門の強化にも期待が持てます。一方、資本市場からの評価はあまりにも低調で、取引も閑散です。2023年3月31日現在、東証スタンダード市場の上場維持基準を「株主数」及び「流通株式時価総額」で満たしておらず、このままでは上場廃止となる可能性すらあります。提出者は個人投資家としての経験を活かし、株主還元の強化、IR活動のさらなる充実、株主優待の新設等、企業価値向上に資する提案を行います。そうした活動を通じ、発行者の上場維持とさらなる発展の一助になりたいと考えています。」によるもの。

報告書によると、高山

泰三の日本出版貿易株式会社株式保有比率は、5.09%と新たに5%を超えたことが判明した。

報告義務発生日は、2024年2月15日。